

# 総合教育臨床センターだより

2023年2月 第9号

## 京都教育大学の総合教育臨床センターに 学びサポート室を設置しました！！

詳細については、次号でお知らせいたします。



### ◆特別支援教育臨床実践拠点の取り組みについて◆

#### 2022年度京都教育大学特別支援教育セミナーを開催しました

特別支援教育臨床実践拠点では、今年度2回にわたり3年ぶりになる対面形式による特別支援教育セミナーを開催しました。

#### 第1回 特別支援教育セミナーについて

9月17日（土）の第1回のセミナーでは、遠藤利彦先生（東京大学大学院教育学研究科 教授）に「子どものアタッチメントと非認知能力について」という演題でご講義いただきました。

#### ・参加者について

京都府・市、近隣県から 57名が受講されました。

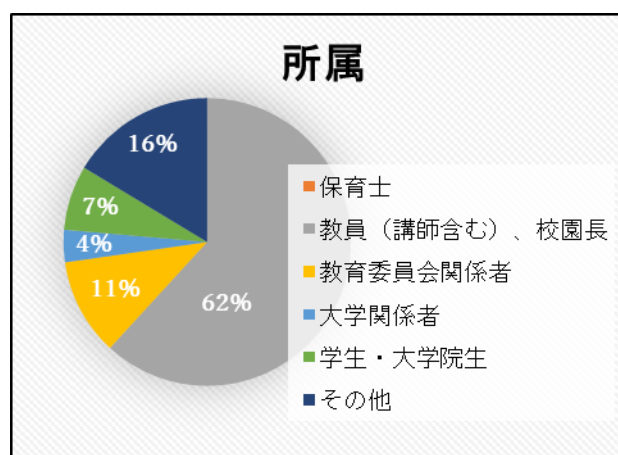


図1 アンケート回答者の所属 (n=55)

表1 アンケート回答者の所属 (人)

所属	
教員（講師含む）、校園長	34
教育委員会関係者	6
大学関係者	2
学生・大学院生	4
その他	9
計	55

◆ 遠藤先生には、アタッチメントの重要性と非認知能力の重要性について基礎からお話いただきました。参加された方からは、「非認知能力についてわかりやすいお話、そしてアタッチメントとのつながりを丁寧に伝えて下さり、

子ども達に関わる上で気持ちを引き締めることができました。またアタッチメントについても一生涯を通して大切な役割を果たしていることを感じました。」等、多数のご意見やご感想をいただきました。

## 第2回 特別支援教育セミナーについて

11月5日（土）の第2回のセミナーでは、平田正吾先生（東京学芸大学 准教授）に「発達障害児の不器用さについて」という演題でご講義いただきました。

### ・参加者について

京都府・市、近隣県から 39名が受講されました。

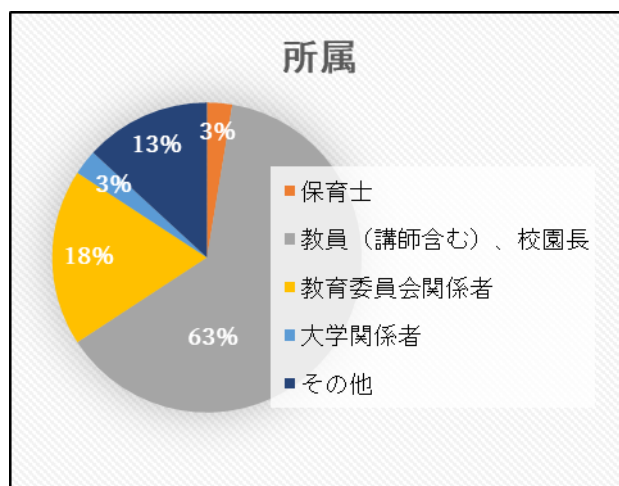


表2 アンケート回答者の所属 (人)

所属	
保育士	1
教員（講師含む）、校園長	24
教育委員会関係者	7
大学関係者	1
その他	5
計	38

図2 アンケート回答者の所属 (n=38)

- ◆ 平田先生からは、「不器用」から生じる二次的に生じる心理社会的問題や支援方法について詳しくお話いただきました。参加された方からは、『「速さと正確性の関係」や「自分の障害をカバーするために症状が出ていることもある』ということなど、初めて知ったことがありとても新鮮に感じました。そう考えると子どもの見方も一層深まり支援方法にも幅が広がるのではないかと思います。』等、様々なご感想をいただきました。

次年度も開催予定ですので、みなさんのご参加をお待ちしております。

## 発達相談のお申込み方法

子どもの発達・教育相談を行っています。あらかじめ電話でお申込みください。

電話番号 075-644-8354

（月曜～金曜午前10時～午後3時 ※午後0時30分～1時15分除く）  
※祝祭日、夏季休業・冬季休業中は除く

## 特別支援教育実践拠点・スタッフ

専任教員（センター長）教授：相澤雅文

兼任教員 教授：田爪宏二（教育学科）

准教授：牛山道雄、佐藤美幸、丸山啓史（以上 発達障害学科）

相談補佐員：松中修子（月）、福井めぐみ（火・水・金）、山本恵子（木）



## ◆教育臨床心理実践拠点の主要な取り組み◆



### 附属学校スクールカウンセラーより

#### ～附属桃山小学校・附属幼稚園～

平成30年(2018年)に赴任し、早くも5年が経とうとしています。勤務を始めた頃は、とても小さかった子ども達が成長した姿を見られることに喜びを感じております。

今年度より、幼稚園で開催されている『子育てサロン』に参加させていただいています。『子育てサロン』は保護者が気軽に子育ての悩みや、工夫などを話せる場として設けられています。自由参加型ですが、年4回のサロンに毎回6～7名ほどの方が来られます。それぞれのお話にみんなが耳を傾け、困りごとには知恵を出し合ったり、子育てでの工夫にはみんなが驚き、笑顔になったりと、1時間半があつという間に終わってしまいます。参加者が思いを共有できることは大変貴重で、“大変なことはたくさんあるけど、一緒に子育てを頑張っていこう”という雰囲気になっているように感じられます。その場の温かさは経験させてもらえて有難いと思うほどです。そこに私が居ることは、カウンセラーの存在を知ってもらえ、カウンセリングに対する敷居を低くする効果もあるように思います。実際、子育てサロンに来られたことをきっかけにカウンセリングに来られた方もいらっしゃいます。

日頃の活動は保護者の方とのカウンセリングや先生方とお話しすることが中心になっています。園児や小学校児童とカウンセリングで話をすることは中々ありませんが、周りの大人達が環境を調整することや、子どものことを理解することは大切な支援になると思っています。子育てする中で、不安に思わない方はいません。カウンセリングに来られる保護者の不安を受け止め、寄り添い、解決方法を一緒に考え、『子育てサロン』で感じられるような温かさを大切に、共に感じられる存在であり続けたいと思っています。

(附属桃山小学校・附属幼稚園 金子真理子)

### 附属学校園の心理相談に関するお知らせ

附属学校園の幼児・児童・生徒およびその保護者の方を対象に、個人・家族・学校などの悩みや困った問題について**心理的援助**を行っています。どうぞお気軽にご連絡ください。

#### 相談申し込み方法

**予約制**となっておりますので、あらかじめ電話でお申し込みください。

電話番号 075-644-8354

(月曜～金曜午前10時～午後3時 ※午後0時30分～1時15分除く)

※祝祭日、夏季休業・冬季休業中は除く

※新規お申し込みは火曜・水曜・金曜のみ受付を行います。

※「発達相談」と共通の受付電話番号となっておりますので、最初に「心理相談を希望」とお伝えください。

※「心理相談」は京都教育大学附属学校園の関係者以外のご相談はお受けできませんのでご了承ください。

令和4年度(4月~12月) 京都教育大学 附属学校園 相談件数

桃山地区スクールカウンセラー(岩瀬佳代子 附属桃山中学校・附属特別支援学校担当)  
令和4年度(4月~12月) 相談全体

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	48	18
延べ相談件数	167	79

桃山地区スクールカウンセラー(中井裕子 附属高等学校担当)  
令和4年度(4月~12月) 相談全体

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	12	20
延べ相談件数	64	81



桃山地区スクールカウンセラー(金子真理子 附属桃山小学校・附属幼稚園担当)  
令和4年度(4月~12月) 相談全体

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	16	22
延べ相談件数	31	41

京都地区スクールカウンセラー(荒井久美子 附属京都小中学校担当)  
令和4年度(4月~12月) 相談全体

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	50	94
延べ相談件数	195	179

**教育臨床心理実践拠点・スタッフ**

兼任教員 教授：森孝宏  
准教授：西村佐彩子

